



横浜市立田奈小学校

平成31年4月26日

学校だより

5月号



みのだなくん

～豊かで調和のとれた子の育成～

たくましく生きる人 なかよく生きる人

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>

本物に触れる

校長 酒井 浩明

新緑の季節となり、田畑では田植えや夏野菜の植付けの下準備が見られる頃となりました。

本校でも4月12日の放課後に、職員たちと農業体験活動の準備をはじめました。畑の畝づくりとビニルマルチ張りを行ったのです。

職員から「校長先生、鍬の使い方が上手ですね」と言われ、少し胸を張り家庭菜園をやっていることを話しました。一緒に作業をしたことで、さらに田奈小の一員になれました。

これから始まる子どもたちの農業体験活動は、学校教育目標の第2項目「田畑や自然・人など本物に触れる体験を通して、豊かな感性や相手の立場や気持ちを思いやって行動できる優しさを育みます。(徳)」とかかわる大切な教育活動です。

休日に家族で出かけ畑を見かけた折には、「学校の田畑でどんな活動をしているか」「野菜や果物のこと」や「農業や農家のこと」など、学年に合わせた会話を通して学びを深めていただければ幸いです。

22日の朝会では、4月23日が「子ども読書の日」で、本校は5月10日までを「こどもの読書週間」としていること、私(校長)の子ども頃の読書傾向や読書習慣のきっかけ、朝の通勤時に文庫本を読んでいることなどを話しました。

そして、インターネットで情報が手に入る時代になっているが、多くの人が価値を認めるものが本になるので、本を読む習慣を付けてほしいと話しました。

平成26年度の全国学力・学習状況調査では、読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い児童ほど、平均正答率が高い傾向が見られたようです。

また、本を読む習慣は、今後の学習にだけでなく、大人になってからも役に立ちます。

今週から図書貸出しが始まっています。読書週間を機会に、家庭でもスマホを置いて、テレビを消して、家族で本に親しむ時間をもたれてはいかがでしょうか。

穏やかな晴れの日が続いていますが、朝昼の寒暖の差が激しくなり、体調を崩す子どもも見られています。

現在学校では、運動会にかかわる準備や指導が少しずつ始まっています。

今年は、退位に伴う大型連休も控えています。体調の回復とともに、休み明けの生活習慣の立て直しへのご配慮をお願いいたします。

